

教員研究活動業績一覧

雑誌名	東邦学誌
巻	34
号	1
ページ	127-138
発行年	2005-06-30
URL	http://id.nii.ac.jp/1532/00000071/

東邦学園大学

丸山 恵也

著作

- 編著『批判経営学』（新日本出版社、2005年3月）
共著『有松・鳴海絞りと有松まちづくり』（唯学書房、2005年3月）

論文

- 「日本的生産システムと産業クラスター」（上）（『東邦学誌』第33巻第2号、2004年12月）
「現代企業と経営学の課題」（『経済』2004年9月）
「日本的生産システムと産業クラスター」（『中小商工業研究』第81巻、2004年10月）

森 靖雄

著作

- 東海自治体問題研究所・東海豪雨研究会『「東海豪雨」の教訓を考える』（東海自治体問題研究所、2004年9月）
東邦学園大学・地域ビジネス研究所『近代産業勃興期の中部経済』（唯学書房、2004年9月）
森靖雄『中小企業が日本経済を救う』（大月書店、2004年10月）
森靖雄『新版やさしい調査のコツ』（大月書店、2005年3月）

論文

- 「どんでん広場」の研究（『東邦学誌』第33巻第1号、2004年6月）

社会活動など

- 尼崎駅前再開発シンポジウム・基調講演「地域における大型商業施設の役割を考える」（小田公民館、2004年7月）
日本衛生学会・中小企業安全衛生研究会第38回全国集会記念講演「中小企業が日本経済を救う」（名古屋大学医学部・鶴友会館、2004年11月）
2004年度経済教育学会全国大会報告「日本語でできる海外インターンシップの実践報告」（松本大学、2004年12月）

その他

- 経済教育学会代表理事（2004年12月～現在）
特定非営利活動法人神戸地域総合研究所副理事長（2005年2月～現在）
特定非営利活動法人地域と協同の研究センター理事（2000年11月～現在）

浅生 卯一

著作

“Japanese Companies : Theories and Realities” Trans Pacific Press, May 2004 (共著
『日本企業 理論と現実』ミネルヴァ書房、2001年の英訳、訳者Brad Williams)

論文

共著「職場の分業と『変化と異常への対応』」(『名古屋市立大学 人文社会学部研究紀要』第
18号、2005年3月)

その他

“The Division of Labor on the Manufacturing Shopfloor, and Its Social and
Institutional Background in Japanese Motor Vehicle and Electronic Industries from
the Viewpoint of Swedish Experience” 共同報告 (12th Gerpisa International
Colloquium, Ministere de la Recherche, France, June 9-10, 2004)

「日本の自動車・電気機器産業における職場の分業—スウェーデンの経験との対比を通じて—」
共同報告 (社会政策学会第109回大会テーマ別分科会、大阪市立大学、2004年10月16日)

日本労働社会学会幹事 (2004年1月～12月)

新修名古屋市史現代部会調査員 (2003年2月～)

安保 邦彦

論文

「中部地区の産業史 (その3)」(『東邦学誌』第33巻第1号、2004年6月)

「中部地区の産業史 (その4)」(『東邦学誌』第34巻第2号、2004年12月)

報告

「大学発ベンチャービジネス、株式会社メディアサポートセンターの設立」(『東邦学誌』第34
巻第2号、2004年12月)

その他

東邦学園大学公開シンポジウム・コーディネーター「地域のおカネは地域で」(名古屋ガーデン
パレス。2004年12月2日)

NPO「エルダーネット」講演会「地域活性化とベンチャービジネス」(名古屋市、2004年12月
18日)

九条の会愛知・大学人の会発足記念講演会「暮らしの中の平和憲法」(名古屋市民会館、2004
年12月18日)

名古屋経済大学法学会講演会「アジアにおける今後の日本の政治的立場」(犬山市・名古屋経
済大学、2005年2月10日)

九条の会名東集会でのアピール「草の根の九条の会を全国へ」(東邦学園大学、2005年3月8
日)

日本ベンチャー学会理事(2001年4月～現在)
社団法人中部経営情報化協会特別会員(2002年4月～現在)
社団法人中部経営情報化協会事業企画委員 (2003年9月～現在)
日本流通学会企画委員(2005年3月～現在)
株式会社メディアサポートセンター代表取締役 (2004年8月～現在)

井上 秀次郎

著作

共著『批判経営学』(新日本出版社、2005年3月)

論文

「情報化と企業経営」(『経済』2005年12月号、新日本出版社)

「絞り産業の位置づけ」(『地域ビジネス研究叢書』第3号、2005年3月、唯学書房)

報告

「産地調査の方法と課題」(管理論研究会、キャンパスプラザ京都、2004年5月30日)

「知識創造企業論の理論的基盤」(経営情報学会情報システムのための定性的研究部会、神戸・しあわせの村保養センター、2004年8月27日)

「中川薫『重症心身障害児の母親意識の形成と変容のプロセスに関する研究』について」(経営情報学会情報システムのための定性的研究部会、神戸・しあわせの村保養センター、2004年8月28日)

「IT革命と生産システムの変容」(IT革命と21世紀企業研究会、龍谷大学、2005年2月25日)

その他

「産学連携調査研究(東邦学園大学・豊田信用金庫)」(『所報』NO.4、東邦学園大学地域ビジネス研究所、2004年9月)

井上 宏

研究課題

地域産業とまちづくり研究

論文

「グローバル経済下の地域産業まちづくりの現状と課題 宮崎県綾町の事例を中心に」(『東邦学誌』第33巻第2号、2004年12月)

論文草稿

「現代資本主義経済と地域産業まちづくりの課題 一宮崎県綾町の事例を中心に」

(日本科学者会議第15回総合学術研究集会予稿集 2004年度)

「経済のグローバル化と地域産業の実態 一宮崎県産業まちづくりの状況を中心に」報告

(中部企業経営研究会、2004年9月11日)

「現代資本主義経済と地域産業まちづくりの課題 ―宮崎県綾町の事例を中心に」報告

(日本科学者会議第15回総合学術研究集会、2004年11月28日)

「現代資本主義経済と地域産業まちづくりの課題」報告

(東邦学園地域ビジネス研究所主催、2005年1月19日)

その他

比較経営学会理事 (2002年～)

平尾 秀夫

著作

「有松・鳴海絞りと有松のまちづくり」共著 (唯学書房、2005年3月)

報告

「東邦学園の高短大連携教育」(『東邦学誌』第33巻第2号、2004年12月)

その他 (社会活動)

財団法人 日本統計協会 評議員 (昭和61年～現在)

財団法人 日本統計情報開発センター 評議員 (平成4年～現在)

游 仲勳

論文

「現代世界華人経済論の構造——研究領域と分析視角」(『華僑華人研究』創刊号、日本華僑華人学会、2004年9月)

報告

「華僑華人の全体像」(共通問題「華僑・華人社会の現在——送出国と受入国での変化——」、基調報告、日本華僑華人学会第2回全国大会、法政大学市ヶ谷キャンパス、2004年11月27日)

その他

「創刊の辞」(『華僑華人研究』創刊号、日本華僑華人学会、2004年9月)

芳野 俊郎

著作共著

『地域中小企業の経営革新』（ミネルヴァ書房、2005年3月末刊行予定）

第6章「地域中小企業の国際化と事業承継支援ネットワークの課題」（P.75～90、16頁）を担当。

論文

「後継者育成のための事例考察－事業承継及び技能承継の視点から」

（『立命館経済学』第53巻特別号、2004年4月）

研究ノート

「健康福祉ビジネス論」授業「感想」による『共学』的教材研究

（『立命館経済学』第54巻特別号、2005年3月末刊行予定）

調査報告書

「北河内地域高校生・進路担当教員・採用企業の就職問題アンケート調査報告」

（北河内高校生の就職を考える会、2004年5月）

書評

井上秀次郎著「地域活性化のための地場産業研究 産地調査の方法論序説」（『東邦学園大学地域ビジネス研究所所報』2004, No. 4）

その他

北河内高校生の就職を考える会・就職調査報告集会

記念講演「高校生の仕事づくりと後継者づくり」

（ルミエールホール、2004年5月23日）

衛都連第8回職場・職種別交流集会第12分科会「地域産業・経済と街づくり」

基調報告（兼助言者）「現場型地域産業政策を求めて」

（守口文化センター、2004年7月30日～31日）

「国内繊維産業再生の道を探る」実行委員会 第2回繊維フォーラムin Kyoto

パネルディスカッション：コーディネーター

（登録会館、2004年11月7日）

中小商工業研究所東海部会（都市型サービス部会）研究部員（20004年10月～）

京都府商工部観光・商業室「京都産業活性化プラン政策検討会議(小売商業振興)」メンバー
（2003年度～）

京都自治体問題研究所理事（2002年～）

基礎経済科学研究所理事（2000年～）

阿部 克己

論文

「『中小企業における労使見解』の形成過程について（上）」（『企業環境研究年報』第9号、2004年12月、61～80ページ）

報告（調査報告、座談会での報告を含む）

「中小企業をめぐる雇用・労働状況の変化」（『同友会景況調査報告（DOR）（2004年「転換期における雇用・労働の変化」特別調査）』第68号、2004年12月、2～5ページ）

「＜座談会＞これからの中小企業 時代と地域からの期待」（『研究センターレポート』第16集、2005年2月、3～40ページ）

その他（講演）

第1期役員研修大学 第7講「同友会の経営環境改善運動」（滋賀県中小企業家同友会、龍谷大学REC滋賀会議室、2004年4月27日）

第16回企画室「拡大戦略会議」（テーマ「これからの情勢展開と、地域再生の課題、同友会運動への期待」）「雇用・採用の変化と会員企業の経営課題、2010ビジョン」（愛知中小企業家同友会、愛知県中小企業センター、2005年1月31日）

後 千代

論文

「地方自治体の業績評価とパートナーシップの質」（後房雄編著『イギリスNPOセクターの契約文化への挑戦—コンパクトと行政—NPO関係の転換』Sf21ビックレットNo.5、23～36頁、市民フォーム21・NPOセンター、2004年）

「地方自治体の合意形成支援としての評価と内部監査のあり方～名古屋市の行政評価を事例として～」（『月刊 監査研究』2004年6月号、日本内部監査協会、1～5頁）

「米国の連邦政府監査の制度と基準」（日本監査研究学会課題別研究部会『政府監査基準の構造—平成16年度最終報告』2005年3月、148～157頁）（平成16年度、科学研究費補助研究（基盤研究（B）（1））研究分担者）

報告書

名古屋市行政評価委員会「名古屋市行政評価総括コメント」『行政評価の実施結果（平成16年度）—行政評価委員会の外部評価—』（名古屋市、2004年9月）

学会報告

「名古屋市の外部行政評価の事例と公監査の課題」（日本会計研究学会、第105回中部部会、名城大学、2004年5月22日）

「東海市『まちづくり指標』策定に見る合意形成過程」（国際公会計学会、関東部会、明治大学、2004年7月3日）

「地方自治体の業績評価とパートナーシップの質」（日本監査研究学会、公監査部会、国立学校

財務センター、2004年8月22日)

その他 (講演・社会活動)

東海NPM研究会「東海市『まちづくり指標』の策定過程と市民参画」(東海NPM研究会、名古屋都市センター、2004年7月24日)

「名古屋市はどんな事業をやっているのか ー外部行政評価委員のみた成果と課題ー」(名古屋大学法学部212号室、2004年11月7日)

包括外部監査研修会「公会計①」(名古屋税理士会、名古屋税理士会館、2004年10月22日)

包括外部監査研修会「公会計②」(名古屋税理士会、名古屋税理士会館、2004年11月19日)

包括外部監査研修会「公会計③」(名古屋税理士会、名古屋税理士会館、2004年12月17日)

市民フォーラム21・NPOセンター研究会「契約文化とNPO～英国事例を題材に～」(市民フォーラム21・NPOセンター、NPOプラザ、2005年1月11日)

「米国をはじめとする主要国の会計検査制度について」参議院決算委員会陳述(参議院、2005年2月10日)

〈社会活動〉

国際公会計学会常務理事(1998年9月～)

日本地方自治研究学会理事(2001年9月～)

国土交通省独立行政法人評価委員(2000年2月～)

行政経営フォーラム監事(2001年4月～)

名古屋市行政評価委員(2003年4月～2005年3月)

東海市行政改革推進委員会・副委員長(2004年4月～)

名古屋市病院経営改善推進委員(2004年9月～)

市民フォーラム21NPOセンター評議員(1997年6月～)

岡部 一明

著作

共著：東邦学園大学地域ビジネス研究所編『近代産業勃興期の中部経済(地域ビジネス研究叢書2)』(唯学書房、2004年9月、「日本近代化における地域ビジネスの役割」執筆)

論文

「ニュージーランドの自治体制度 ー効率化と住民自治と」(『東邦学誌』第33巻第1号、2004年6月)

その他

大阪市立大学文化交流センター講座「インターネットは社会をどう活性化するか ーアメリカの市民とネット事情」(大阪市立大学梅田サテライト(大阪)、2004年5月20日)

東海大学エクステンションセンター講座「アメリカ社会とNPOの役割」「アメリカNPOの最新資金調達事情」(東海大学高輪キャンパス(東京)、2004年6月18日、25日)

- NPOフォーラム2005基調講演「NPOのメディア戦略」（茨城県経営者協会・茨城NPOセンター・茨城新聞社主催、茨城県立図書館（水戸）、2005年2月27日）
- シニアネットフォーラム21 in 2005基調講演「今なぜ地域にシニアネットか」、パネルディスカッション司会「楽しむ中から始まる地域貢献」（(財)ニューメディア開発協会主催、日本青年館（東京）、2005年2月28日）
- (財)ユニバーサル財団市民活動助成専門委員（2001年4月～）
- (特)市民フォーラム21・NPOセンター評議委員（2002年4月～）
- (特)市民コンピュータコミュニケーション研究会理事（2000年1月～）
- (特)エルダーネット理事（2003年4月～）

高木 靖彦

論文

- Y. Takagi, S. Hasegawa, K. Teramoto, H. Yano, S. Yamamoto, S. Sugita, and M. Abe, 「Impact Cratering Experiments in Microgravity Environment」 (『Proc. 37th. ISAS Lunar Planet. Symp』, 2004, 21-24)
- S. M. Lederer, D. L. Domingue, F. Vilas, M. Abe, T. L. Farnham, S. C. Lowry, Y. Ohba, P. R. Weissman, L. M. French, H. Fukai, S. Hasegawa, M. Ishiguro, S. M. Larson, and Y. Takagi. 「Physical Characteristics of Hayabusa Target Asteroid 25143 Itokawa」 (『Icarus 173』, 2005, 153-165)

学会発表

- 高木靖彦、長谷川直、寺元啓介、矢野創、安部正真、山本聡、杉田精司、「微小動力環境下におけるクレーター形成実験」（地球惑星科学関連学会2004年合同大会、幕張メッセ国際会議場、2004年5月12日）
- 安部正真、高木靖彦、阿部新助、北里宏平、廣井孝弘、上田裕司、藤原顕、小惑星探査機はやぶさ搭載近赤外線分光器チーム「小惑星探査機『はやぶさ』搭載近赤外線分光器によるクルージングフェーズ観測」（地球惑星科学関連学会2004年合同大会、幕張メッセ国際会議場、2004年5月12日）
- 高木靖彦、長谷川直、寺元啓介、矢野創、安部正真、山本聡、杉田精司、「微小動力環境下におけるクレーター形成実験」（第37回月・惑星シンポジウム、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部、2004年8月4日）
- 安部正真、高木靖彦、北里宏平、廣井孝弘、阿部新助、藤原顕、NIRSチーム「はやぶさ搭載近赤外線分光器による月・惑星観測」（第37回月・惑星シンポジウム、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部、2004年8月6日）
- M. Abe, Y. Takagi, S. Abe, K. Kitazato, T. Hiroi, Y. Ueda, F. Vilas, B. E. Clark, and A. Fujiwara, 「Prelaunch Calibration and Current Status of Near Infrared Spectrometer

for HAYABUSA Mission] (International Science Symposium on Sample Returns from Solar System Minor Bodies “The 1st. HAYABUSA Symposium”, ISAS/JAXA, Sagamihara, Japan, October 20, 2004)

Y. Takagi, S. Hasegawa, K. Teramoto, H. Yano, S. Yamamoto, S. Sugita, and M. Abe, [Impact Cratering Experiments in Microgravity Environment] (International Science Symposium on Sample Returns from Solar System Minor Bodies “The 1st. HAYABUSA Symposium”, ISAS/JAXA, Sagamihara, Japan, October 21, 2004)

藤原顕、安部正真、川勝康弘、森治、矢野創、吉光徹雄、野口高明、高木靖彦、出村裕英、小天体探査WG、「次期小惑星探査計画」(第5回宇宙科学シンポジウム、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部、2005年1月6日)

高木靖彦、安部正真、小天体探査WGオービターサイエンスサブグループ、「次期小天体探査における母船搭載観測機器の検討および探査候補天体の地上観測計画の現状」(第5回宇宙科学シンポジウム、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部、2005年1月6日)

藤原顕、斉藤潤、中村良介、石黒正晃、平田成、寺菌淳也、山本彩、橋本樹明、安部正真、高木靖彦、北里宏平、廣井孝弘、阿部新助、岡田達明、白井慶、荒井武彦、細野梢、「はやぶさ地球スイングバイにおける搭載機器較正観測の結果」(第5回宇宙科学シンポジウム、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究本部、2005年1月6日)

Y. Takagi, S. Hasegawa, K. Teramoto, H. Yano, S. Yamamoto, S. Sugita, and M. Abe, [Impact Cratering Experiments in Microgravity Environment] (36th. Lunar and Planetary Science Conference, South Shore Harbour Resort & Conference Center, League City, Texas, March 15, 2005)

M. Abe, Y. Takagi, K. Kitazato, T. Hiroi, S. Abe, F. Vilas, B. E. Clark, and A. Fujiwara, [Observations with NEAR Infrared Spectrometer for Hayabusa Mission in the Cruising Phase] (36th. Lunar and Planetary Science Conference, South Shore Harbour Resort & Conference Center, League City, Texas, March 15, 2005)

田村 豊

論文

単著

「スウェーデンの労働と『良い労働』政策」

(労務理論学会『労務理論学会誌』第14号、2005年3月pp.115-133)

共著

ASAO Uichi, FUJITA Eishi TAMURA Yutaka, “Division of Labour on the Manufacturing Shopfloor, and Its Social and Institutional Background in Japanese Motor Vehicle and Electronic Industry from the Viewpoint of Swedish Experience” (<http://www.univ->

evry.fr/PagesHtml/laboratoires/gerpisa/rencontre/12.rencontre/home.html).

中岡哲郎、浅生卯一、田村豊、藤田栄史「職場の分業と『変化と異常』への対応」

(名古屋市立大学人文社会学部『名古屋市立大学人文社会学部研究紀要』第18号2005年3月 pp.1-51)

報告 (学会報告を含む)

報告

「スウェーデンの労働と『良い労働』政策」(第14回労務管理学会全国大会、九州大学、2004年7月)

「『あいまいな』慣行と社会的費用ー日本の製造業の強さを支えている源泉とその問題点は何かー」(第24回日本中小企業学会全国大会、関東学院大学、2004年10月)

共同報告

ASAO Uichi, FUJITA Eishi TAMURA Yutaka, "Division of Labour on the Manufacturing Shopfloor, and Its Social and Institutional Background in Japanese Motor Vehicle and Electronic Industry from the Viewpoint of Swedish Experience", Twelfth GERPISA International Colloquium, Paris, France, June 2004.

浅生卯一・田村豊・藤田栄史

「日本の自動車・電気機器産業における職場の分業ースウェーデンの経験との対比を通じて」(第109回社会政策学会全国大会、大阪市立大学杉本キャンパス、2004年10月)

その他

講演 「ウッデヴァラ工場にみるボルボ生産システムの特徴と導入例」
(自動車問題研究会東海支部、2004年6月29日)

講演 「ボルボ生産方式の経過とその評価ーウッデヴァラ工場での生産コンセプトの革新性はどこにあるのかー」
(経営研究所：自動車産業を中心とする日本の生産システム将来像研究会、2005年1月26日)

企画・コーディネーター

全国社会保険労務士会附属日本労務管理研究センター主催

「事例で学ぶこれからの人事労務管理ー変化する経営環境をどう乗り切るかー」(全9回)
(明治大学リバティアカデミー、2005年5月19日～7月21日)

明治大学経営学部・全国社会保険労務士会附属日本労務管理研究センター共催、第3回中央労務管理セミナー「変化する経営環境とこれからの人事戦略～新たな人事・労務管理像を探る～」でのパネルディスカッション (パネリスト：佐野陽子、平沼高、青野覚、湯野川恵美、奥山恵一、明治大学アカデミーコモン、2005年3月18日)

調査

科学研究費補助金「自動車産業における国際的再編がサプライヤーに与える影響に関する調査 (ルノーと日産の提携を中心とした欧米日の比較研究)」基盤研究B(1)研究分担者(代表者：清 一郎・関東学院大学)

科学研究助成金「企業経営とその社会的・技術的条件に関する日本・スウェーデンの国際比較研究」基盤研究B（1）研究分担者（代表者：野原光・広島大学大学院）

長南 仁

著作

『日本的労使関係の実態』資本蓄積と労働運動（有限会社 唯学書房、2004年9月）

深谷 和広

論文

「実現損益の決定に関する指針の論理－TECH 7/03を中心に－」（『東邦学誌』第33巻第1号、2004年6月）

「FRS17「退職給付」に関する実現利益/損失の決定原則－TECH 13/04を中心に－」（『東邦学誌』第33巻2号、2004年12月）

太田原 準

共著（執筆分担）

松林光男・渡部弘編著『工場のしくみ』（日本実業出版社、2004年8月）

東邦学園大学地域ビジネス研究所編『近代産業勃興期の中部経済』（唯学書房、2004年9月）

佐藤百合・大原盛樹編著『アジアの二輪車産業－基礎情報と企業一覧－』（アジア経済研究所、2005年3月）

その他

日本貿易振興会アジア経済研究所・研究委員（2004年4月～）

めいきん生協理事（2004年6月～）

愛知県史編纂調査執筆委員（2004年6月～）

経営史学会幹事（2005年1月～）

竹越 美奈子

報告

「六甲話的飲食動詞」（日本中国語学会関東支部例会、青山学院大学渋谷キャンパス、2004年11月20日）

「广西三江侗族自治县六甲話的“吃[k^hik⁵⁵]”与“□[çok⁵⁵]”」（第二届国际汉语方言语法学术研讨会 The Second International Conference on Chinese Dialect Grammar、中国武漢：華中師範大学、2004年12月5日）

その他

辞典の共同執筆者『東方中国語辞典』（東方書店、2004年4月）

科学研究費の研究協力者「平成16-18年度基盤研究（c）新システムによる『漢語方言地図集』の作成」（2004年4月～）

翻訳「Cantonese Primer(2)」(『開篇』Vol.23、好文出版、2004年5月)

西部 真由美

論文

“Definite notional subject in existential there constructions: a quantitative study,”
English Corpora under Japanese Eyes: JAECS Anthology Commemorating its 10th Anniversary, Language and Computers – Studies in Practical Linguistics 51,
NAKAMURA, Junsaku, Nagayuki INOUE and Tomoji TABATA (Eds.). Rodopi:
Amsterdam/New York. November, 2004.

“Making of the Yuu Corpus: Longitudinal spontaneous speech data of a Japanese boy,”
Toho Gakushi (Journal of Toho Gakuen), vol.33, 2. December, 2004.

水野 孝彦

論文

「米国FASBによる支配力基準の展開」（『東邦学誌』第33巻第2号、2004年12月）

報告

「米国FASBによる支配力基準の展開」（日本会計研究学会第63回全国大会、中央大学、2004年9月9日）